学校番号	１２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史ＢⅡ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳世界史Ｂ　（帝国書院）						
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表　五訂版　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の大きな流れを感じる。
・歴史的事象の相互の関連性を考える。
・歴史の背景を理解し、現在の日本や世界の問題について考える視点を持つ。

２　学習の到達目標

・歴史の諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・世界の歴史を理解し、国際化する社会に生きる個人としての知識と主体性を養う。
・現代の諸課題について、歴史的背景と結び付け、その側面を考慮に入れながら、考察することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際化する社会に生きる個人として主体的に責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する地図・諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	・授業の発言と発表 ・課題の成果 ・定期試験	・授業の発表 ・課題の取組状況と成果 ・プリントのメモ状況	・定期試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	2部　海洋による世界の一体化	1章　アジア諸地域の栄華と成熟	○	○	○	○	a:東アジアにおける明・清を中核とした国際関係と，イスラーム諸王朝が各地で独自の文明を成熟させたことに関心をもち，追究している。 b:どちらも多民族国家であり，世界帝国であったオスマン帝国と清の外交や内政のあり方を比較考察し，表現できる。 c: 地図などの各種資料を活用して，各地における特色と相違点を指摘できる。 d: 明・清を中核とした国際関係と，ヨーロッパ人のアジア進出，各地で独自の文明を築いたイスラーム諸王朝とその関係について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
1学期	2部　海洋による世界の一体化	2章　大規模な分業体制の成立	○	○	○	○	a:「大航海」・ルネサンス・宗教改革がヨーロッパに変革をもたらすとともに「世界の一体化」が始まり，新たな時代が展開されていったことに関心をもち，追究している。 b:「大航海」により始まった西欧中心の世界の一体化が「垂直的分業」をもたらし，現代の南北問題の起点にもなったという点を考察し，表現できる。 c:主権国家・重商主義などの言葉を概念図などを用いて表現できる。 d:近代世界システムの概念を理解するとともに，ヨーロッパ内部では，主権国家体制が形成されていったことを理解している。南北アメリカ大陸の風土と諸文明について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

1学期	2部　海洋による世界の一体化	3章　ヨーロッパ諸国の主権強化と大西洋三角貿易	○	○	○	○	a:ヨーロッパ各国それぞれの変革と，主権国家体制について関心をもち，追究している。 b:各国の変革と近代的な国際関係の成立を理解する。また，英仏の覇権争いがなぜ世界各地に及ぶものであったのかを考察し，表現できる。 c:地図や図表を利用して，ヨーロッパの国境の変化や，英仏の世界規模での覇権争いなどを指摘できる。 d:ヨーロッパ各国が状況に応じた変革を行っていく中で近代的な国際関係が形成されていったこと，および英仏の覇権争い，大西洋三角貿易について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
1学期	2部　海洋による世界の一体化	4章　環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	○	○	○	○	a:産業革命・市民革命の前後で，生活や社会のあり方がどのように変化したかを，さまざまな視点から追究している。 b:産業革命で変化した社会，およびアメリカ独立・フランス革命によって形成された「国民国家」は，従来とはどのような点で異なるのか説明できる。 c:産業革命の展開や国民意識の広がりを，地図や図表などの各種資料を活用して指摘できる。 d:産業革命による社会の変化のようすや，環大西洋革命によって国民意識が形成されていくことを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2学期	2部　海洋による世界の一体化	5章　イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	○	○	○	○	a:イタリア・ドイツなどヨーロッパ各地で国民国家が形成されていった過程に関心がもてる。 b: イタリアとドイツの統一を例に，国民国家の具体的な形成過程を考察し，表現できる。 c: 地図や年表などを用いて，国民国家の形成過程を指摘できる。 d: イギリスの覇権の確立，および欧米各国が国民国家としての体制を整えていく過程を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
2学期	2部　海洋による世界の一体化	6章　世界の一体化の進展とアジアの変容	○	○	○	○	a:アジア各地域の植民地化の過程や改革への模索に関心をもち，追究している。 b:欧米諸国の進出に対するアジア各地域の動きを考察し，表現できている。 c:地図などの各種資料を活用し，欧米諸国の進出にさらされたアジア各地域の状況を指摘できる。 d: 欧米諸国の進出に対するアジア各地域の外交・内政について理解するとともに，アジア諸国間の国際関係や経済関係について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
2学期	3部　地球社会形成の模索	1章　世界の一体化の完成とその影響	○	○	○	○	a:帝国主義と世界分割競争に関心をもち，追究している。 b:アジア知識人による体制改革の試みを考察し，表現できている。 c:地図などの各種資料を活用し，帝国主義の下でのアジア・アフリカの状況を指摘できる。 d: アジア各国の体制変革について理解するとともに，欧米諸国間の国際関係や経済関係について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

3学期	3部 地球社会形成の模索	2章　世界大戦の時代	○	○	○	○	a：第一次世界大戦と社会主義革命に関心をもち，追究している。 b:ナショナリズムの展開を考察し，表現できている。 c:地図などの各種資料を活用し，第二次世界大戦での各国の動向を指摘できる。 d: ファシズムの台頭について理解するとともに，欧米諸国間の国際関係や経済関係について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
3学期	3部 地球社会形成の模索	3章　東西冷戦から多極的国際社会へ	○	○	○	○	a：アメリカの覇権と冷戦の展開に関心をもち，追究している。 b:冷戦の展開を考察し，表現できている。 c:地図などの各種資料を活用し，多極化する国際状況を指摘できる。 d: 米ソ二極化の時代の終焉について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
3学期	3部 地球社会形成の模索	4章　相互依存を深める世界	○	○	○	○	a:社会主義の解体に関心をもち，追究している。 b:国際秩序の変容を考察し，表現できている。 c:地図などの各種資料を活用し，グローバル化する国際情勢を指摘できる。 d: グローバル化の動きと世界の変化について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。